

定部金 五銭
 印刷費 五銭
 送料 五銭
 代金 五銭
 印刷所 東京市本町三丁目
 電話 六三〇番

刊夕日五月六

常警論壇
 悪思想恐るゝ勿れ
 及川智雄

我が國民性の研究は最近に到つて歐米諸國の人に依つて、著しく盛んになつて來たが、その本尊たる我々日本人は一向之に對して徹底的な研究をして居らない様であるが、其處に又獨特の我國國民性の發露があるのかも知れない、然し我自らを知らぬと云ふ事は他人に對して恥しいばかりでなく、己れ自らに達しても餘りに無關心では在り得ないのが理の當然である性の然らし

ひる處ではあるまいか然らば我が大和民族の民族精神即ち國民性とは果して何であるか之を一言にして言へば彼のナツプ教授が言つて居るが如く「雜然多様な事象をよく總括統一する性に富んでゐる」と云ふ事に歸するのである、我々の日常生活乃至は文學、藝術に於ても極めて統一的に簡單化し且之を總括するといふ事に妙を得て居る様である例へば國粹と云はれる相撲を觀ても眞ッ裸体で掴み合ひをするのであるから之を西のテニスやバスボールに比べたら、如何に簡單で單純あるか分らない、而もそ

の技に存在するスポーツマンスピリット武士的氣象に到つては決して單なる腕と力との問題ではない、或はその藝術の粹たる詩に於ても卅一文字又は十七文字の中に天地宇宙を詠み心情感覺をまとめて終はうと云ふのであるから支那の漢詩や外國文學に於ける詩の如き長々しいものではないがその氣品に於て力に於て美に於て劣つてはゐない

(つづく)



建築の絶好季!!!
機會ハ來ル!!!
 材料ハ安ク、能率ノ上ル
 頼ンデ德、請ケテ樂ナ建物
 ノタメニナル
 ▲二月十五坪以内ノ住宅本年内十月ニ限リ建築費三分ノ二迄三ヶ年月賦金融
 ▲家賃ト大差無キ掛金ニテ三年間ニ自分ノ家トナル毎月其家ノ東端シガラ三十六分ノ一宛アナタノ物ニナツテ行クノデス

磐城建設株式會社

教育玩具
 毛糸 諸糸
 書籍 文具
 花カ ルタ
 ト ラ ン プ
 ハーニカ
 學校用品
 食料玩具
 (良品を廉賣致します)

卸 下 森
 屋 商 下 森
 日 丁 一 町 平

五月人形
 小道具一式
 武者人形と
 座敷敷
 布 鯉

例年の通り目下
 大賣出中です
 是非御用命の程を!!!

電話六四九番
 平町二丁目百七銀行隣

強壯營養素「マルケイ・ウイタミン」
効果の兩立……病弱の回復と健康の増進
 是非一度は御試験あれ

定價 三圓—五圓—拾圓

代理店 平町五丁目
山野邊藥局

- 本舖懸賞當選者
- 千三百十七枚の内より抽籤に依り左記の如く當選者決定す
- | | |
|----|--------------------------|
| 一等 | 城山 皆川 三郎殿 |
| 二等 | 材木町 篠崎 俊夫殿 仲間町 小林 秀治殿 |
| 三等 | 田町 福島 榮一殿 白銀町 小泉 克子殿 |
| 同 | 二丁目 大崎 一屋殿 |
| 同 | 鐵道官舎 篠崎 庄重殿 |
| 同 | 五丁目 遠藤 千子殿 |
| 同 | 平窪 矢吹 長貴殿 |

あん餅で東北一...
 鐵道省御用舖
 花澤四良司菓子店

江戸のやぶそば
 一場所 仲田町(赤心)元金月あご
 一味は 純粹の東京式
 「エビ天ふら」はいつでもありませす
 一配達 多少不拘飛行機式

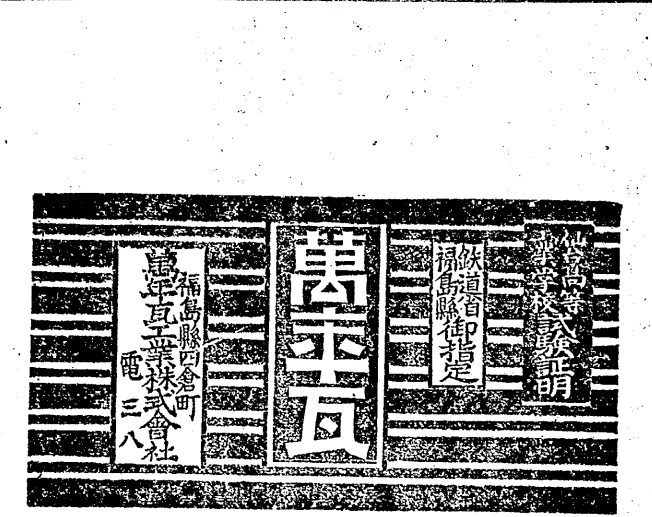
平町仲田町(電一四二番)
 やぶそば

町平紺
吉田眼科醫院

实用的和服洋服教授
 集募徒生
 目科授教

叶多裁縫女塾
 平町字南町(青木寫真館前)
 叶多チエ子

- 婦人子供の洋服
- 一般和服
- フランス刺繡
- スピニン編み



御來客があつても
 慌てる事御無用
 マツモトヤのコーヒーを
 お用ひ遊ばせ
 コーヒー入角砂糖
 百匁 三十五銭

目 丁 四
ヤトモツマ
 番 二 一 四 電

平青年團が

教育 寫眞會を催す

十、十一日晝夜有聲座に
資金募集の一方

平青年團にては資金募集の
一方法として教育活動寫眞
大會を催す事になつたが會
場は有聲座、日時は来る十
十一日の兩日の晝夜にて會
費は廿錢、映畫を特に選び
軍國美談『大和櫻』を始め
教育映畫『去り行く影』外
數種を上映する筈である
因に當日の混雑を緩和する
觀覽の日時を大体左の如く
各町割に區分した由

炭礦の坑夫

石城郡の調査

石城郡で調査した去月十日
現在の同郡職工及び日雇勞
働賃金は左記の如く概して
屋内における仕立職等の類
が最も安く屋外または

危険の

伴なふ屋根
職などの三圓五十錢が最高
で同じ屋外も木かげに陣ご
り安全に作業が出来れば比
較的割のよいものは木職で
これを炭礦方面に比べると
探炭夫の平均三圓五十錢後
山夫の同二圓八十錢は多少
の危険こそあれ仕立職の四
倍を越えてゐる譯で地方か
ら炭礦稼ぎに

大成丸豊漁

大型漁船の 威力を示す

石城郡江名町漁業會社が今
春三萬五千圓を投じて新造
した四千トン七十五馬力の
大型漁船大成丸は去月十
六日初漁に出たが廿一、廿
七兩日銚子をさる東南百二
三十海里の沖合で鏝千八百
餘尾を漁獲去る二日には更
に二千餘尾を漁獲相州三崎
に入港水揚げしたとの通信が
あつたので江名濱の大福丸
成田丸はそのあとを追つて

平署長に

警視實現か 郡役所廢止

郡役所廢止による郡長其他
の落つく先は知事や内務部
長以外に何人も知る所でな
いが昨今或筋の傳ふる所に
よれば郡廢後

兵事々務

其他が警
察署に移される平署の膨脹
が同署多年の縣案であつた
警視署長に昇格されさうな
うはさがある右は濱通り第
一の大都市として且つまた
石城郡の首府としての上に
附近には

炭礦其他の工業が
盛んで從來警察關係の事件

も頗る多く縣下に於ける大
郡の中央地として徴兵事務
等の處理上平町を中心とす
れば總てに便宜の少なから
ざるは勿論でこれ等諸設備
の擴張から警視署長の配置
が意外に促進されるに至つ
たものであると

今年の夏
服として
新しい流
行を見せ
るのには
ブル卸の
それであ
る之はア
メリカに於ける目下の流行
に因るものであるが日本で

は廣背の夏
ンタボルブダ
(行流の夏初)

はダブル卸は今迄殆んど流
行といふ程の事は無かつた
が胸に二條の卸が設けられ
たら賑か特殊な
流行を 見せるであ
らう普通の背廣で變つた點
を挙げると上衣が稍長めに
なつて臀部が隠れる位の長
さとなり胴廻りは稍大きく
裾のつまつたのが新型で一
時流行つた胸をきつちも絞
つたのは類れかけ又上衣の
臀部は割らないのが
今年の 流行である
が之は人に依つて不向きな
人もあらう春頃から上衣の
卸の位置を下げて胸の開き
を大きくしたのが流行りだ

カラな人には四つも
付ける 人がある又
チヨッキは今迄よりも稍や
短くなつて来た同時にゾボ
ンは半分處は折り返しをな
くしつと長くそして太く
丁度短靴の靴下が隠れて終
ふ位の長さになつてゐる之
等はすべて脊が低く足の短
い日本人をなるべくすらす
らとしたスタイルに見せる爲
めに斯う拵へたものである

營業部員 高木 喬
右退社 仕候間御承知願上候
六月三日
常警 毎日新聞社

圓、建具職二圓、瓦職三
圓五十錢、菓子職一圓二
十錢、下駄職一圓八十錢
カシ工二圓、植字工一圓
八十錢、人夫二圓三十錢
石工二圓八十錢
植田道路改善 植田
驛前から八幡小路に通ずる

坑内出水に悩む 石城の群小炭礦

石城郡地方の各炭礦は近年
坑内出水の變災が頻發し炭
礦業者を脅かしてゐる、ガ
ス爆發の如き慘事を見るこ
とは少いが出水は非常に多
くこれがために

排水費

は遙に採炭
費を凌がしてゐる状態で各
炭礦では坑内の排水には全
力をつくしてゐる、各炭礦
で採掘する石炭は將來坑道
が次第に深くなり行き地下
幾千尺に達するだらうがさ
うなると排水や採炭の設備

多額の

經費を要す
るので小資本では經營が出
来なくなるから勢ひ資本の
大合同が實現されなければ
ならぬ、それと同時に恐る
べき坑内の出水に備ふる準

備が必要であらう、即ち水
脈は同一であるから各炭礦
が合同して排水の
設備を 完全に
出炭能率の増加を計ること
によつて炭礦の經營は續け
らるべく資本の合同は石城
地方の炭礦に取つて非常に
重要視されて来た

泉村に
メロン實る
一個が三圓から五圓
社會課長視察
石城郡泉村篤農家志賀澤之
助氏經營農園のメロンは目
下第二期採取季にあり本月
下旬頃より出廻るであらう
と豫想されてゐるが成熟に
近きメロンは其數百個以上
上げませう。虫は昔蠅の幼
虫なのです、雪隠にわくも
のと矢張り同じです。です
から絶対にこれをわかさぬ
やうにすることが大切で
それには掃を常に密封し清
潔にして居て親蠅の出入り
ができぬやうにすることが
肝要であります。その他驅
除法としては漬物の味を損



漬物桶にわく虫
夏になると漬物桶に兎角一
分位の虫がわいて困ります
其の豫防法と驅除法を申し

したが之は夏物にも應用さ
れて居るそして襟の切れ込
みは稍や角度が廣くなり又
は直角
以上の 廣さにそれ
を廣くした型のものもある
ボタンは數は若向きとして
は相變らず二つボタンで年
輩向きの外之が全盛である
一つボタンは殆んど流行ら
なくなつた袖のボタンは大
概三つが普通であるがハイ

募集

文藝其他投稿
を募集します

平町人事

▲死亡
△飯田町四四 飯岡ヤス(六二)
△紺屋町一三 志賀繁壽(四八)

營上の參考資料と爲すには
すがしからぬ物ばかりにて
約二百數十點の多きに達し
て居る

を算し實に見事なもので同
所は本縣に於ける唯一のメ
ロン栽培場で三日鐘江縣社
會課長は實地の視察を遂げ
たが該事業は非常に有利に
して相場は一ヶ最底三圓か
ら五圓位であると

授業實況公開 平町
第二小學で校は昨四日午後
八時から父兄を招ぎ授業の
實地參觀をなさしめ懇話會
を開いた

ホスター展
本日から開く
平町みどり會主催ホスター
類展覽會は愈々本日から平
陽實科女學校にて開催され
たが出品物は何れも商店經